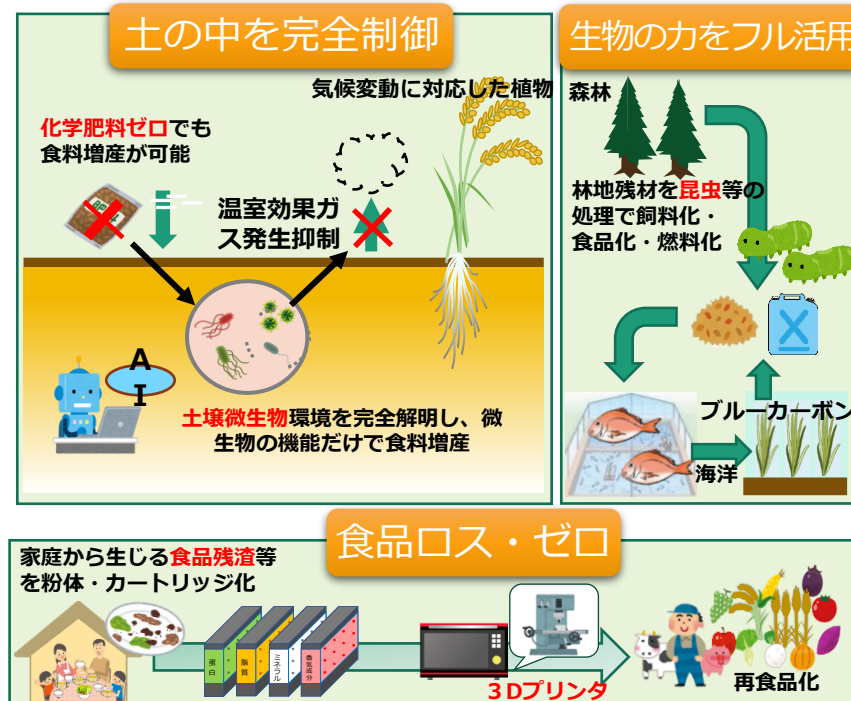


ムーンショット型研究開発制度は、**我が国発の破壊的イノベーションの創出**を目指し、従来技術の延長にない、より大胆な発想に基づく挑戦的な研究開発を推進

**目標5 2050年までに、未利用の生物機能等のフル活用により、地球規模でムリ・ムダのない持続的な食料供給産業を創出**



# アポロ計画

1961年 発表



1969年 月面着陸成功



[https://en.wikipedia.org/wiki/We\\_choose\\_to\\_go\\_to\\_the\\_Moon#/media/File:John\\_F.\\_Kennedy\\_speaks\\_at\\_Rice\\_University.jpg](https://en.wikipedia.org/wiki/We_choose_to_go_to_the_Moon#/media/File:John_F._Kennedy_speaks_at_Rice_University.jpg)



[https://commons.wikimedia.org/wiki/File:John\\_W.\\_Young\\_on\\_the\\_Moon.jpg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:John_W._Young_on_the_Moon.jpg)

**10年以内に！**

*We choose to go to the moon **in this decade** and do the other things, **not because they are easy, but because they are hard.***

(宇宙開発の国家目標について、ライス大学でケネディが行った演説から) 2



# The Global Risks Report 2020

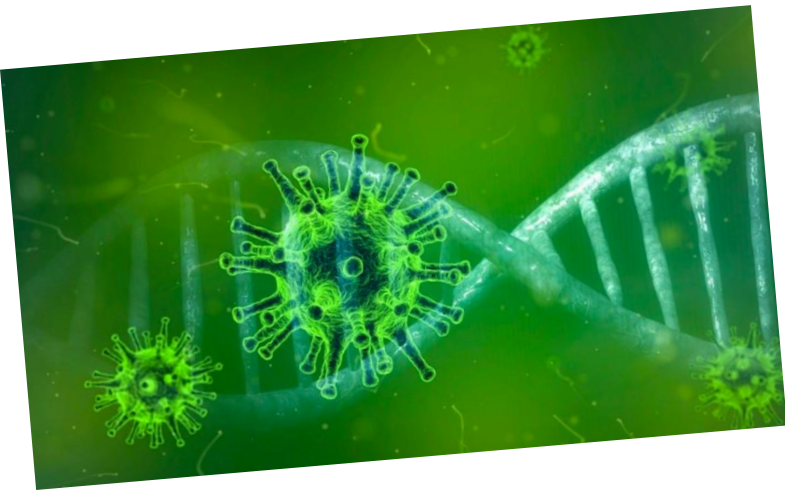
Insight Report | 15th Edition

In partnership with Marsh & McLennan and Zurich Insurance Group



## A Decade Left

Confronting Runaway  
Climate Threat



The Global Risks Report 2020

[http://www3.weforum.org/docs/WEF\\_Global\\_Risk\\_Report\\_2020.pdf](http://www3.weforum.org/docs/WEF_Global_Risk_Report_2020.pdf)

# 研究シーズから社会への波及の道のりは困難

自分のシーズにこだわる危うさ → 人は離れていく

類似のものが山積する中、強みを過信し弱みを軽視している

顧客は誰なのかがわからないまま

未来市場における価値をとらえていない

実現に至る道を確保するための計画性が希薄

**「発明や新技術 = イノベーション」ではない**

# 破壊的イノベーション

既存の枠組みを超えた構想力と実現力により、  
「達成すること」が必須

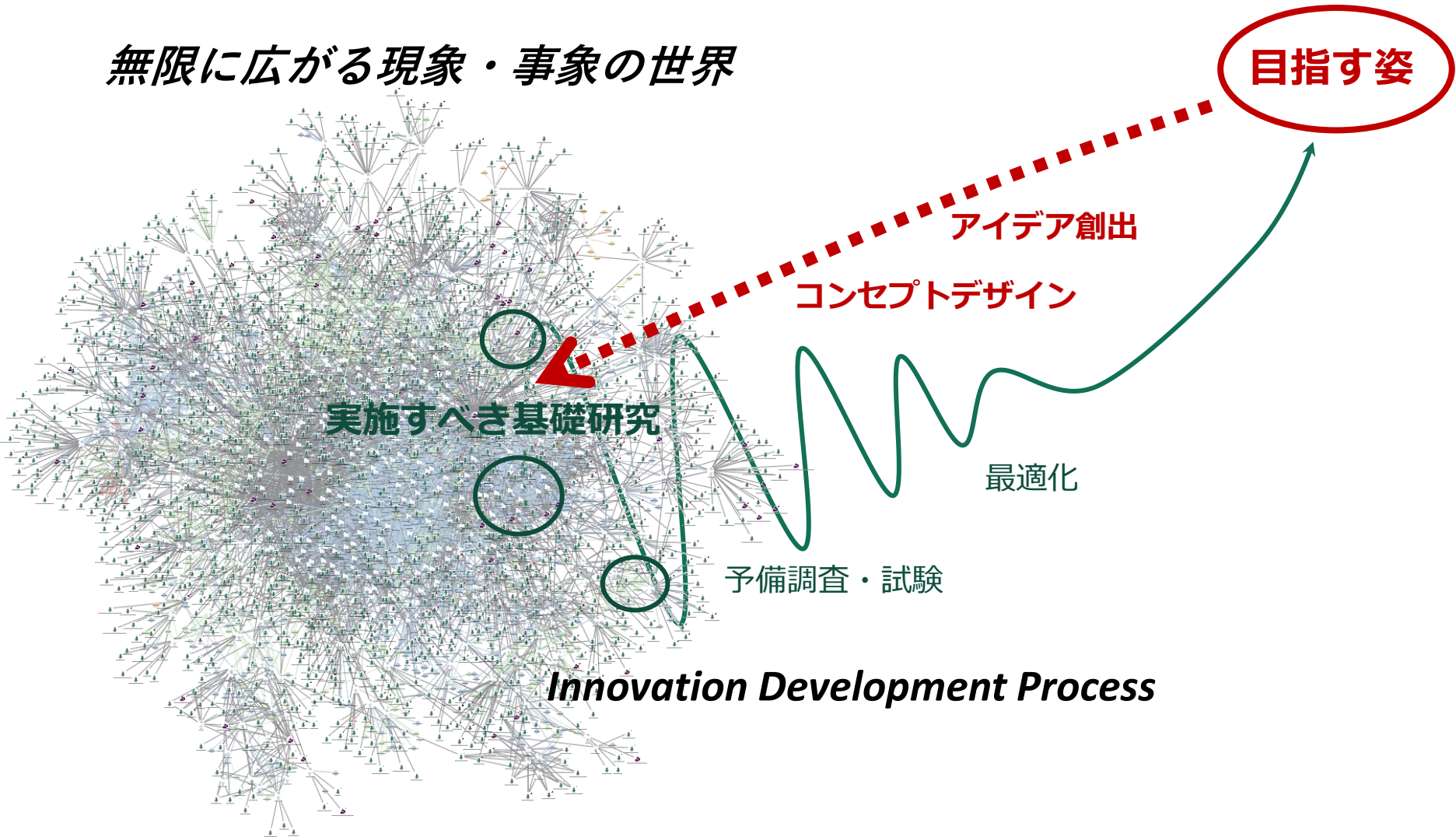
到達の方法も、既知の概念を越えること

- あるべき大きな姿を描く（**構想力**が最も重要）
- 限界点を知る（**自分の限界**や見えないバリアも）
- 既存の方法論にこだわらない
- 自然の法則には逆らえない
- 論理的思考と直感のセンス
- チーム形成と議論による効果の最大化



# 新しい事業を創出するプロセス

無限に広がる現象・事象の世界



# MS目標5における 挑戦的な研究開発推進方針

従前の研究開発手法による**限界を認識**し、新たな提案の革新性、強み、生みだされる新たな価値を明確に

今後の社会から求められるニーズに合致し、**起業や事業化を含めた確実な発展のスキームを描く**

**民間等からの資金提供や投資を受け研究開発、事業開発を進める体制の構築**が見込まれるか

**問題点の把握とその克服方法、類似の方法、既存の別の方法との違いや優位性**が明らかであるか

## 目指す姿に向けた持続發展的活動が必須

研究環境

交流と創造の場

産学連携  
国際連携

共同研究  
受託研究

外部人材  
交流事業

大学間  
連携

地域連携  
金融連携





**残された時間は、あと10年。**

**構想の明確化は「今」。**